

# いわて子育てネット ニュースレター

いわて子育てネットは..

- お母さん、お父さんの子育てを応援します。
- 親育ち、子育てを応援します。
- 子育て中の親はもちろん、子育てサークル、子育て支援団体、医療機関、行政、企業、社会をネットワークし、楽しく安心してできる子育て環境の向上をめざします。



**vol.10**  
2007.12.01.

## 子育ての視点で考える まちづくり 調査研究事業

当法人では、盛岡市中心市街地大通のつどいの広場K O K K Oを、盛岡市より委託を受けて運営しています。中心市街地のつどいの広場設置に関しては、大通りの賑わいの一端を担う期待もあり、街中に子どもたちの居場所を作ろうと働きかけ具現化したものです。つどいの広場ができて、子連れの姿がいささか増えたこと、つどいの広場と同じビルに入っている大人向けの靴屋さんが子どもの靴も置くようになったことなどの変化が見られます。しかし、つどいの広場には行くけれど他にいくところがないなどという声もつどいの広場の利用者から聞こえています。

そこで、盛岡市大通がもっと親子で出かけて行きたい街にするには何が必要かというテーマで『子育ての視点で考えるまちづくり調査研究事業』を行っています。現況や社会の推移を背景に、子育て中のお母さんたちやここで生まれ育った人たちの声を聞き、あらためて街ってなんだろうと考える。人の関わりが希薄になると子どもも街も無表情になっていくこと、子どもも街もいろんな人が関わって育てていくことが大切、こんな時代だからこそ、もっとゆとりというか遊びの要素が欲しいと思うこの頃です。

調査研究事業で、子育てママからどんな夢プランがでてくるのが楽しみです。

子育ての視点で考えるまちづくり調査研究事業 1

中心市街地のまちづくり夢プラン作成中  
協働について考えること 2

「伝われ、つながれ、広がれ、未来を担う子どもたちに」  
世代間交流事業  
子育てママ・パパフリーマーケット  
平成19年度岩手県要保護児童対策地域協議会 3

会員からのメッセージ  
私の妊娠生活  
私の子育て支援  
いわて子育てネット 会員募集 編集後記 4



(写真：子どもの靴を置くようになった靴屋さんの案内板)

### 「子育ての視点で考える まちづくりフォーラム」

— 子ども連れで行きやすいまち、行きづらいまち —

期日：2月2日(土)

時間：13時30分～16時30分

会場：コミュニケーションギャラリーLiRiO  
3F イベントホール

(岩手県盛岡市大通一丁目11-8)

本事業に関心のある方は、ぜひお越しください。  
お問い合わせ・お申し込みは、いわて子育てネット  
事務局まで。

前頁でお伝えした通り、現在、財団法人岩手県福祉基金より助成を受け、『子育ての視点で考えるまちづくり調査研究事業』を推進しています。現在の進捗をご報告いたします。

## 中心市街地のまちづくり夢プラン<sup>作成中</sup>

**報告**

「ママさんライター2期生」5名および事務局スタッフで、「子育て当事者の視点によるまちづくり夢プラン」を作成中です。研究対象は、盛岡大通商店街界隈。研究方法は、ゲストスピーチとヒアリング調査、そしてワークショップ。10月15日より、週1回・全10回のスケジュールで活動しています。(下表参照)

### - スケジュール -

10月15日	オリエンテーション ゲストスピーチ「子どもとまちづくり」
10月22日	企画ワークショップ「まちって何だろう?」
10月29日	ヒアリング調査
11月5日	ヒアリング調査
11月12日	ゲストスピーチ「盛岡大通商店街の昔を語る」
11月19日	調査結果集約
11月26日	分析ワークショップ
12月3日	「夢プラン」作成
12月10日	「夢プラン」作成
12月17日	方策ワークショップ

ゲストスピーチ「子どもとまちづくり」では、岩手県立大学総合政策学部の倉原宗孝准教授を迎えました。倉原准教授は、その後も、アドバイザーとして参加してくださっています。

ゲストスピーチ「盛岡大通商店街の昔を語る」では、子ども時代を盛岡大通商店街で過ごした、有限会社菅原靴

(写真：企画ワークショップ「まちって何だろう?」)



(写真：「盛岡大通商店街の昔を語る」ゲスト)



(写真：子育て支援施設でのヒアリング調査の様子)

店社長の菅原陽一氏、株式会社京藤専務取締役の藤澤眞紀子氏を迎えました。

ヒアリング調査では、子育てサークルや子育て支援施設へお邪魔し、子育て中の女性たちから多くの貴重な意見をいただきました。

今後、これまでの成果を分析し、「夢プラン」を仕上げていきます。途中参加歓迎。性別・経験・資格は不問です。大通商店街界隈に想いをお持ちの方、ぜひお越しください。

## 協働 について考えること

近頃はいろんなところで「協働」の文字を見かけることが多くなりました。当法人も、今では、行政と協働する事業が大きな柱になっています。しかし、事業を組み立てるときに、日ごろの活動から見えてくる子育てニーズのなかで自分たちができることの優先順位を決め、まず、自主事業として単独でやってみます。場合によっては、助成金の申請をして資金を得ます。例えば、18年度『「こんにちは、赤ちゃん」産褥時の家事・育児・託児支援モデル事業』、19年度の『子育てママの底力事業』、『子育ての視点で考えるまちづくり調査研究事業』などです。この助成金の申請は、事業企画、申請書(団体紹介、企画書、予算書、実施スケジュール等)の作成、事業実施、報告書(実施報告、決算等)作成などと面倒ではありますが、この一通りの経験は、企画力、プレゼンテーション力、事業を推進する力、予算の管理、課題を把握する力、事務能力など、力がつくこと請け合いです。団体の成長

にはもちろん、行政との協働にも必要な大きな力です。

公共性の高いもので、1 NPOでは広がりや限られてしまう事業、行政と協働した方が効果が上がると思われる事業、例えば、子育てサポートセンターや盛岡市つどいの広場K O K K Oのような子育て親子の居場所づくりにしても、行政と協働することで単独で施行するより遥かに充実した子育て支援サービスが提供できているかと思えます。

今、生後4ヶ月までの赤ちゃんがいる家庭訪問事業を想定して盛岡市と行政の役割、民間の役割を探り合っているところです。今まで以上に、行政の立場、制約を理解すること、NPOを理解してもらうことの重要性を再確認し、それは話し合いや事業の推移の中で時間をかけて理解し合い、共通の目的が達成できるようにと考えています。市町村合併など、ますます住民自治の重要性が高まるなか、協働の経験を積んで力をつけておきたいものだと考えています。

両川いずみ (いわて子育てネット 副理事長)

**コラム**

「伝われ、つながれ、広かれ、未来を担う子どもたちに」

## 世代間交流事業 **報告** **予告**

今、子どもたちの人間力に不安を感じている大人は少なくありません。親だけではなく、地域の中で人生経験の豊かな大人たちに関わって育つ子どもは、社会で必要な力が備わっていくことが期待できます。

遊びの伝承、味の伝承を行いながら、未来を担う子供たちと高齢者を中心とした大人が交流する機会をつくること、また、高齢者を中心とした大人にも今の子育て環境を理解してもらい、地域で子育ての気運を高めることを目的に企画しました。

### < じいじ、ばあばレビュー講座 >

今のお母さん事情・沐浴研修・ミルクの作り方 ほか  
期日：11月6日(火) - 終了 -

### < じいじ、ばあばレストラン ~ 子どもに伝えたい 郷土の味 ~ >

- ばあば編 - 調理実習(お雑煮と花寿司の作り方)、食事と親睦  
期日：12月20日(木) 時間：10時00分~13時00分  
会場：いわて県民情報交流センター a i n a  
6 F 調理実習室 (盛岡市盛岡駅西通一丁目7-1)

参加：500円 定員：12名

- じいじ編 - 期日：2月

伝授します

### < 三世代交流盛岡城跡公園で遊ぼう ~ 冬の遊び ~ >

期日：1月11日(金) 会場：盛岡城跡公園 (盛岡市内丸)

お問い合わせ・お申し込みは、いわて子育てネット事務局まで。

子育てママ・パパ

## フリーマーケット **報告** **予告**

子育て中のお母さん・お父さんにとって、子どもの成長は嬉しいもの。しかし、目まぐるしい成長に伴い、一時的にしか使わない子育て用品で、あれこれ悩んでいる方も多はず。もう使わなくなった子ども用品が、「でも、捨てるにはもったいない」と眠っているご家庭もあるのでは。そんな子育てグッズのリサイクル・リユースの場、また、子育てママ・パパの交流の場を提供するため、MOS Sビルと連携し、MOS Sビル駐車場脇にて、フリーマーケットを9月・10月に開催しました。天候にも恵まれ、多くの方に来場していただきました。



来年度は、5月から10月まで、月1回開催予定です。このフリーマーケットを通じ、少しでも「子育て応援」「地域で子育て」に繋がっていかばとっております。

(写真：9月開催『子育てママ・パパフリーマーケット』の様子)

## 報告

平成19年6月12日(火)13時30分より、岩手県水産会館大会議室において第1回岩手県要保護児童対策地域協議会が開催されました。同協議会は、昨年度までは連絡会でしたが、今年度より協議会として再構築されました。

最初に「本県の児童虐待の状況について」の報告が県保健福祉部長よりなされ、県内においては特に実母による身体的虐待、ネグレクトが増加傾向にある調査結果が示されました。続いての議事では、会長の選出が行われ、岩手大学教育学部付属教育実践総合センターの加藤義男氏が会長に選出され、今年度の児童虐待防止アクションプランの推進について協議され、各委員による意見交換が行われました。

## < 平成19年度児童虐待防止キャラバン 実施経過 >

11月の「児童虐待防止推進月間」、11月1日(木)9時から県庁前広場においてキャラバン出発式を行いました。

### - スーパーマーケット等への巡回訪問 -

スーパー、コンビニエンスストア、ゲームセンターなどの店長および従業員に対して、児童虐待の通告に関する理解と協力を図るためにオレンジリボンの配布及び児童虐待に関する説明等の巡回訪問を行います。従業員には月間期間中オレンジリボンを胸につけてPR等を行います。説明資料については、気づいてほしい子どもの様子、兆候をわかりやすくイラストで整理し、市町村の窓口を明記するなど通告の際の参考となるパンフレットを用意します。

### - 各市町村長等への巡回訪問 -

市町村長、郡市医師会長、地区歯科医師会長に対して、児童虐待の撲滅や里親制度の普及促進に向けたなお一層の取り組み強化を要請するため、趣旨及び現状説明、意見交換を交えて、オレンジリボンの配布及び知事メッセージの代読を行いながら巡回訪問を行います。

市町村の担当課職員等は、月間期間中オレンジリボンを胸に付けてPR等を行います。

キャラバンは11月1日(木)県庁前広場の出発式から順次実行されており、この事業報告書は1ヶ月以内に児童家庭課に提出されます。

第2回協議会は、12月19日(水)に開催が予定されています。

若林みどり (いわて子育てネット 理事)

私には12月に2歳になる娘がいます。先日、お月様が綺麗に出ていた夜に、娘と2人でお月様を眺めていました。娘は月を指差し「ふうせん きれいね。ふうせん たかいね。」といました。どうやら、まん丸のお月様が娘には高くあがった風船に見えたようです。思わず抱きしめたくなるほど、とても愛しく思いました。こういう瞬間、育児って楽しいなと思います。

そんな私の妊婦生活は、トラブルだらけでした。張り止めを服用し、安静にすごす毎日。悪阻は水すら受けつけず、喉が痛くなるほど吐きました。切迫早産で入院したこともあります。早く生まれませんように・・・と毎日祈りながらの入院生活でした。

結局、私は破水してしまい、36週での出産になりましたが、娘の体重は2,800グラムもあり、元気な産声をあげて生まれてきてくれました。生まれてきてくれた瞬間のことは忘れません。

不安な妊娠生活を送りましたが、今は元気に育ってくれている娘の成長を楽しんでいる毎日です。

藤澤優希 (いわて子育てネット 正会員)  
(ママさんライター1期生)

## 私の妊娠生活

6月に盛岡へ転居して来ました。3月まで保育の仕事をしていたので、こちらでも子育て支援のお手伝いが出来たらと思い情報を集めていました。いくつかの団体に直接お話を伺ったり、施設を見学させて頂いたりした結果、「いわて子育てネット」に決めました。

実際に入会してみて、二つの点で感激しています。まず一点は、研修会の講師の方が素晴らしいことです。毎回その道のプロの方々をお招きして、充実した内容の講義を受けさせて頂いております。二点目は、コーディネーターの方がしっかりしていることです。利用会員・サポート会員それぞれの立場になって親身に支援をしてくださいます。

10月からは託児実習も始まり、毎週月曜日が楽しみとなっています。初めてママと離れ泣いてばかりいた子が、笑って遊べるようになる時には大きな喜びを感じます。

これからはサポート会員として活躍できるよう頑張りますので、よろしくお願いします。

山口祥子 (いわて子育てネット 正会員)  
(緊急サポートネットワーク事業 サポート会員)

## 私の子育て支援

## 会員からのメッセージ

賛助会員(個人) 渡辺秀華、根本瑩子、馬場より子、高橋雪文、樋下正信、小野寺好、飯澤匡 賛助会員(団体) マタニティクリニック小見産婦人科、有限会社バルーン・スケッチ、有限会社ティーシーアイ、医療法人さくら会さくらウィメンズクリニック、夕顔産婦人科医院、西島産婦人科医院・西島こどもクリニック、黒川産婦人科医院、アイクレオ株式会社仙台営業所、特定非営利活動法人わこの家、小林産婦人科医院、岩手ヤクルト販売株式会社、村井産婦人科医院

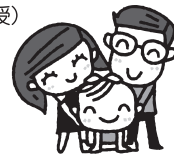
# 特定非営利活動法人 いわて子育てネット

正会員(個人) 57 正会員(団体) 3 プレ会員(個人) 5 プレ会員(団体) 4

理事長 村井軍一 (村井産婦人科医院院長)  
副理事長 両川いづみ (ヒューマンステーション主宰)  
兼事務局長

理事  
吉田耕太郎 (産科婦人科吉田医院院長)  
三浦義孝 (みづら小児科院長)  
若林みどり (桜城・松園児童館指導員)  
今松晴美 (上米内児童館指導員)  
智田文徳 (岩手清和病院理事長)  
黒川賀重 (黒川産婦人科医院院長)  
小林 高 (小林産婦人科医院院長)  
長山 洋 (岩手県立大学社会福祉学部教授)  
高橋雪文 (岩手県議会議員)  
関根敏伸 (岩手県議会議員)  
樋下正信 (岩手県議会議員)  
小野寺好 (岩手県議会議員)  
飯澤 匡 (岩手県議会議員)  
工藤大輔 (岩手県議会議員)  
三浦陽子 (岩手県議会議員)

監事  
顧問



2007年11月30日現在  
敬称略・順不同

詳しくは事務局まで

## 会員募集

年会費	個人	団体
正会員	3,000円	5,000円
プレ会員	1,000円	
賛助会員	10,000円(一口)	

## 編集後記

師走の候、ニューズレター第10号が出来上がりました。10月より、新たな事業を2つ展開しています。キーワードは、「まちづくり」と「世代間交流」。横のつながりと縦のつながり、双方を見据え、子育て支援を考えていきます。事業の推進にあたり、既に多くの方にご協力をいただいています。新たなご縁も生まれています。この輪が、「地域ぐるみの子育て支援」の一助となることを願っています。

MK (いわて子育てネット 事務局)

## 編集・発行

### 特定非営利活動法人いわて子育てネット

〒: 020-0022  
ADD: 岩手県盛岡市大通二丁目6-8  
セントラルガーデンスクエア506  
TEL: 019-652-2910 FAX: 019-605-8272  
E-MAIL: info@iwate-kosodate.net  
URL: http://www.iwate-kosodate.net/